



用するタクシー料金の一部を助成する実証実験を開始します。

少子化および定住促進対策として、現在の中学生までの医療費無料化の対象年齢を高校生までの適用に範囲を拡大して、本年4月から実施します。

病児病後児保育用施設が完成し、本年4月以降に八代北部地域医療センターを事業主体として事業を開始しますので、運営ならびに財政支援を行います。



▲八代北部地域医療センター内に整備された病児・病後児保育用施設

八代市郡医師会と連携して設置とした「八代地域在宅医療介護連携支援センター」を核として、地域

クールの取り組みを推進してまいります。

全小中学校における要支援児童生徒への教育支援を行う要支援児童生徒教育支援事業および地域ぐるみで学校運営を支援する学校支援地域本部事業も継続して取り組んでまいります。特に、要支援児童生徒支援員につきましては、11人体制で支援してまいります。

宮原小学校の給食調理室が老朽化しておりますので、共同調理場からの配食に対応する給食受け庫を整備します。学校給食における地元食材の活用を図るための助成を行うとともに、必要な備品の更新を行うとともに、学校施設修理と教材備品などの購入については、学校現場の要望を尊重して進めてまいります。

小学校部活動が社会体育に移行して1年が経過しましたが、今後円滑な活動が図られるよう支援を行うてまいります。

幼児期における質の高い保育教育を支援するための子ども・子育て支援事業計画および新次世代育成支援対策行動計画に基づく事業を執行し、すべての子どもと子育て家

包括ケアシステム構築の具現化を図ります。

平成30年度から平成32年度まで3カ年の事業指針となる第7期水川町介護保険事業計画に基づき、対象者個々のニーズに応じた適切な介護保険サービスを提供します。

社会福祉協議会が実施している介護、デイサービス事業については、民間事業者との均衡を図るとともに、介護職員の資質向上に努め、サービス内容と利用者への対応を更に充実させてまいります。

人間ドック受診費用、適時年齢に応じた乳ガン検診および子宮頸がん検診の無料化と各種ガン検診費用助成を継続実施いたします。

特定検診を含む住民健診事業については、受診率の向上と健康管理の自己啓発を図ります。

「すこやか赤ちゃん出産祝金支給事業」も継続して実施します。

高齢者肺炎球菌予防接種については、65歳以上の5歳刻みに助成を行うとともに、インフルエンザ予防接種についても65歳以上および1歳から18歳を対象に助成を継続して実施します。

また、子育て世代の母親の精神

庭が安心安全健康に暮らせる町を目指してまいります。

八火図書館も多くの町民の皆さまにご利用頂いておりますが、今後蔵書数を増やすとともに、本施設を中核として学校図書館との連携を図りながら積極的に図書活動を実施してまいります。

国指定史跡である野津古墳群ならびに大野窟古墳の保存活用方針について、報告書が提出され、その具現化に向け、野津古墳群の私有地について買収を行うとともに、大野窟古墳の保全整備調査を継続して実施します。

氷川町体育協会ならびに総合型地域スポーツクラブ「ひかわスポーツクラブ」の組織の強化と会員の拡大を目指して、相互に連携を図りながら、社会体育と文化の振興に向けた支援を行います。

魅力ある暮らしやすいまちづくり

地球環境への負荷軽減による自然と共生するまちづくりをめざして、太陽光発電施設などの費用助成を行う住宅用新エネルギー等導入促進事業および合併浄化槽設置助成

的・身体的負担を軽減するため、産前産後ホームヘルプ事業を継続して実施してまいります。

高齢者および障害者福祉対策といたしましては、いきいきサロン事業、食の自立支援事業、通所型介護サービス事業、高齢者および障がい者住宅改造成事業の継続事業をはじめ、障害者自動車運転免許取得・車輻改造助成事業および難聴児補聴器購入費助成事業に取り組むこととしています。

特に、いきいきサロン事業につきましては、町内39全地区で開催されており、サロン事業を核とした地域での支える仕組みづくりができるものと期待しています。

新規事業として、後期高齢者の医療費、介護要因と基礎疾患の分析を行う長寿健康増進事業に取り組む、医療と介護予防の視点で課題解決に向けた調査研究に着手します。

町社会福祉協議会の地域福祉計画および組織改革計画を踏まえ、町社会福祉協議会の円滑な事業運営と必要な改革を進めるとともに、先般創設した「氷川町介護障がい福祉関係施設連絡会」を活用し、行政、民間施設と連携を図り、地

事業を継続して取り組みます。

「ごみ減量化宣言」をいたしました。が、生ごみ減量化をめざした電気式生ゴミ処理機購入助成は継続して実施することとし、積極的にその普及に努め、新たに業務用大型処理機についても助成対象とします。併せて、町民の皆さまへの意識醸成と具体的な啓発活動を積極的に推進してまいります。

なお、八代市環境センターにおける氷川町のごみ広域処理につきましては、現在氷川町、八代市、八代生活環境事務組合に環境省および熊本県を含めた「八代市・氷川町循環型社会形成推進協議会」において継続して協議を重ねてまいります。

海洋環境保全に資するとともに、河川環境保全への波及効果をめざして、海岸漂着物および漂流・海底ごみの回収処理事業を実施します。

防災防犯対策といたしましては、熊本地震を踏まえて一部見直した氷川町地域防災計画に基づく対応を徹底するとともに、町内全地区の地区別防災計画の策定が完了しましたので、それぞれの計画に基づき、防災訓練をはじめ地区住民の皆さまの防災意識の醸成を推進し

域で支える介護福祉の環境づくりを進めてまいります。

人を育む魅力ある教育の振興

町内の小中学校への空調設備（エアコン）の整備については、当初、平成31年度に中学校の施工、平成32年度に小学校の施工を予定していましたが、平成30年度において国の財政支援制度が確立し、予算が確保されましたので、計画を前倒しし、平成31年度において町内全小中学校の空調設備を整備いたします。

中学生の英語検定受験助成事業を継続し、公益財団法人日本英語検定協会が実施する実用英語技能検定費用の一部を助成し、英語に対する学習意欲の向上を図ります。

小中学校に導入が完了したICT機器（電子黒板、タブレットなど）およびICT支援員2人体制で学習支援を行うことで学力の向上を図ります。

継続して、県費教職員を指導主事として本町に配置し、教職員の授業力向上および学級経営、生徒指導などへの指導助言とともに、本町教育の特色であるコミュニティス

てまいります。

最終年度を迎える防災行政無線デジタル化事業につきましては、各家庭の戸別受信機の整備を行うとともに、すでに整備した防災備蓄倉庫における災害対応資機材および食糧などの備蓄を計画的に進めてまいります。

八代広域行政事務組合鏡消防署氷川分署が、昨年4月より供用を開始されましたが、消防団および自主防災組織との連携を図るとともに、氷川分署の円滑な運営ができるよう支援してまいります。

消防団および自主防災組織を核とした地域防災体制の充実と地域ぐるみで見守る防犯体制を確立するとともに、機能的な組織づくりを図ります。

特に消防団につきましては、団員の確保に努めるとともに、消防活動資機材および装備の整備を行い、活動環境の充実と改善を図ります。

新規事業として、野津火葬場跡地を防災公園として整備し、災害時には一時避難場所および仮置き場として利用するとともに、平常時には、グラウンドおよび住民憩いの場として活用を目指します。